



令和5年度 12月号

矢中だより

大田区立矢口中学校

HPアドレス <https://www.ota-school.ed.jp/yaguchi-js>

感謝を伝える

校長 鈴木 孝洋

年の瀬を迎え、慌ただしく時間が過ぎていくように感じます。今年度の矢口中学校は、一人一人が自分の目標に向けて努力するとともに、集団としてより良い学校をつくりあげていくことに全校生徒がとても協力的でした。朝の挨拶はもちろん、廊下で行き会う際にもしっかりとあいさつができるのは、学校の基礎基盤を皆さんが大切にしている証しだと思います。先月の矢中だよりでは、「凡事徹底」について取り上げました。「当たり前」の事を徹底的に行うことの大切さを皆さんがよく理解しているのだと感じます。

3年生との面接練習で、「矢口中学校はどんな中学校ですか？」という質問をすると、多くの生徒から「生徒同士や生徒と先生の仲が良く、楽しい学校です」という答えが返ってきました。言葉の中に日頃の友達や先生との時間を大切にしている気持ちが表れていて、こちらの心も温くなりました。

皆さんは、次のような言葉を聞いたことがありますか。

「ころ」は
だれにも見えないけれど
「ころづかい」は見える

「思い」は
見えないけれど
「思いやり」は
だれにでも見える

これは、東日本大震災後にテレビからよく流れていたものです。保護者の方の中には記憶に残っている方もいるかもしれません。この言葉は、詩人の宮澤章二さんの『行為の意味』から抜粋要約したフレーズです。

日頃共に過ごしている人に、感謝の言葉を直接伝えるのは少し恥ずかしいかもしれません。しかし、感謝の気持ちを伝えることは、決して難しいことではありません。「ころづかい」や「思いやり」は、必ず相手に伝わります。身近にいる友達や家族にぜひ感謝の気持ちを伝えてください。年末年始は家族で過ごす時間が増えます。皆さんの成長を願い、日々応援してくれている家族に感謝の気持ちを伝えてください。そこにはきっと、温かな時間と空間が生まれるはずです。

最後にこの詩『行為の意味』の全文を掲載します。よい冬休みを。そして、始業式に元気に登校してくれることを願っています。

「行為の意味」

—あなたの〈ころ〉はどんな形ですか
と ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈ころ〉は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに〈ころ〉はだれにも見えない
けれど〈ころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の〈思い〉は見えない
けれど〈思いやり〉はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為となるとき
〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる
—それは 人が人として生きることだ

— 保護者・地域の皆様へ —

令和5年が終わろうとしています。日頃からの本校へのご理解とご協力に感謝いたします。新しい年も、皆様にとってよい年でありますように。

11月 活躍する矢中生 12月

連合球技大会（7組）

○バスケットボール Aチーム 1ブロックB 第2位 Bチーム 3ブロックB 第3位

卓球部

○令和5年度大田区中学校新人卓球大会
男子団体 準優勝



ソフトテニス

○令和5年度大田区中学校ソフトテニス大会
女子団体 準優勝



中学生の「税についての作文」

○東京納税貯蓄組合総連合会会長賞 3年
○蒲田納税貯蓄組合連合会会長賞 3年

さん
さん

大田区立小中学校 人権啓発作品展

○習字の部 3年 さん
2年 さん
○ポスターの部 1年 さん
2年 さん
○標語の部 2年 さん
2年 さん



大田区立中学校生徒会議派遣報告会

○11月3日(金)～10(金)の8日間、アメリカ合衆国セーラム市とドイツ連邦共和国ブレーメン市を訪問した成果を報告しました。本校からは2年生の さんと さんが参加し、英語で自分自身の体験を報告しました。



大田区読書感想文コンクール

○大田区読書感想文集掲載作品（東京都出品作品に選出）
3年 さん
題名「私にできることはなんだろう」
書名：モノクロの夏に帰る 作者：額賀 滯 出版社：中央公論新社

家庭学習のすすめ

大田区教育委員会指導課作成の保護者向け資料「家庭学習のすすめ」を学校ホームページに掲載しました。子ども達の学びを進めるために、学校と家庭の連携協力が大切です。次の2次元コードを読み取りご参照ください。



目指せ 地域の防災リーダー防災運動会

1年生では防災についての学習を深めています。11月30日(木)には防災運動会を実施し、実行委員の生徒の進行により防災に関連した4つの競技に挑戦しました。当日は、矢口特別出張所から所長さんをはじめ3名の方を迎え、防災についての知識を深めることができました。

